



みてみて 回覧

湖南公民館だより
No65 (公民館ホームページ)



令和4年3月8日(水)発行
郡山市湖南町福良字家老9390-4
電話・FAX 024-983-2543
発行責任者 館長 佐藤 忠男

郡山市明るいまちづくり推進運動 標語・川柳コンクール 2月

<小中学生の部> 佳作 出品ありがとうございました。

おかあさん	かじしてくれて	ありがとう	4年	古川	拓未	さん
たのしいな	家族と時間	うれしいな	4年	安部	心春	さん
あいさつが	みんなをつなぐ	あいことば	5年	亀山	愛心	さん
あいさつは	人と人との	つながりだ	5年	田村	愛桜	さん
寒い日は	みんなの笑顔	温まる	6年	樋口	陽翔	さん
誰にでも	言えるといいね	ありがとう	6年	渡部	萌々果	さん

<一般の部> 佳作 出品ありがとうございました。

ウエルカム	助け合うまち	郡山	矢内	勝子	さん
つながってます	あなたとわたし	キミとボク	五十嵐	照子	さん
青空と	つながる子らの	夢光る	古川	知世子	さん
ドナーから	受けてつながる	命の灯	渡邊	紀美子	さん
全世界	つながる心に	笑顔増す	古川	禮子	さん
またこいよ	帰る孫子に	声をかけ	小山	富紀子	さん



湖南の民俗 中地小倉城薄運の姫

伊達政宗に敗れた芦名に随行した中地小倉城主の伊藤盛恒は、水戸にのがれた。中地の城には、奥方の部の前と十六才の娘白妙姫がいた。部の前は、小櫃に避難して無事であった。白妙姫は、父と生死を共にすると男装して若松に向かったが、父は水戸に行った後だった。その後、会津は蒲生氏郷の領地となり、白妙姫は蒲生の軍学者に嫁ぎ、子供が生まれたが夫に先立たれた。白妙姫もまた、生後間もない子を残し、二十六才の若さで薄幸の生涯を閉じた。白妙姫の子孫は、今も会津の塩川町姥堂に「中地」の姓を名乗り続けている。盛恒の位牌もあったが、火事で焼失した。

部の前は、夫盛恒が大崎の乱で戦死した後、満福寺の仏門に入った。城は滅び、部の前は、旧領民に厄介になるのは忍びないと、盛恒の守り本尊地藏尊の厨子を背負い托鉢していたが、三十五才で病没した。この地藏尊は、中地村の廻り地藏として信心されていたが、中地大火の際焼失した。(湖南民俗研究所)



中地の満福寺にある
伊藤盛恒のお墓

令和4年度 冬季 公民館主催・共催事業



健康教室

青少年健全育成協議会
だんごさし体験



骨盤体操・体幹トレーニング

フラメンコ・美姿勢ウォーキング

湖南小学校1・2年生とボランティア連絡会の皆さん

ふるさと・ 良いとこ学級

親子体験教室



正月飾り「しめ縄」作り

クリスマスのお菓子作り

書き初め教室



福良分館事業「盆踊り太鼓たたきの体験教室」8月10日(水)

赤津分館事業「初心者向けスマートフォン講習会」12月15日(木)



(写真左・中) 盆踊りの太鼓の練習に向け、小中学生が、地域の方々に教えてもらいながら、太鼓の叩き方や笛の吹き方の体験をしました。

(写真右) 参加者は、講師の方々にわからないところを尋ね、操作の仕方を一人一人丁寧に教えてもらいました。スマートフォンへの理解が深まりました。